

『第2回(仮称)「漱石山房」記念館整備検討会』の報告

9月9日(日)午後、榎町地域センターにおいて、特別委員を除く26名の検討委員のうち25名(欠席1名)の参加により、第2回検討会を開催しました。
前半は、事務局から検討に向けた施設整備の基本理念や諸条件の説明を、後半は、全国の類似事例の紹介の後、整備予定地である漱石公園の見学を行いました。

施設整備の基本理念

事務局より、(仮称)「漱石山房」記念館の整備の基本理念について、新宿区の考え方を説明しました。

施設整備の基本理念について



「漱石山房」の復元に関する基礎調査の概要

事務局より、昨年度実施した「漱石山房」の復元に関する基礎調査について、調査の目的や実施方法、調査の結果得られた成果の概要を紹介しました。

〈建物に関する概要〉

明治30年頃、米国帰りの医師三浦篤次郎が建設。建坪60坪あまりの木造平屋建で、7間。屋根の全体の形状は不明。椀瓦葺き、庇は銅またはトタン葺き。書齋・客間部分の壁は漆喰塗で、床は板の間。書齋は絨毯を敷き、客間には畳を入れた。この二間とも広さは同じで、8畳と10畳の二説がある。窓は、鉄格子のはまった上げ下げ窓。扉は開き戸。また、書齋・客間の南北東側を取り巻くベランダ式回廊があり、当初は吹き抜けであったが、漱石入居時にガラス戸を後付けた。

〈課題〉

- ・ 家屋の図面や新発見の写真は確認できず、書齋・客間以外の情報は極めて乏しい。
- ・ 室内の広さや色調については、残存する書画・調度品と写真との分析が必要。

整備予定地の概要

事務局より、整備予定地である区営住宅(早稲田南町第3アパート)及び区立漱石公園の2敷地について、都市公園法や建築基準法等の関連法規における制約事項を説明しました。



会場風景

また、区の方針として、区立漱石公園を維持することとし、公園の配置や形状の変更等により、(仮称)「漱石山房」記念館の整備を行うことが示されました。

類似施設の紹介

旧宅等の整備のあり方について、3つの類型にもとづき、類似施設を紹介しました。

- A. 旧宅等十展示・管理施設による二棟構成
類似事例：小平市平櫛田中彫刻美術館、吉井勇記念館、調布市武者小路実篤記念館等
- B. 旧宅等の内部を記念館として利用
類似事例：三鷹市山本有三記念館、熊本市夏目漱石内坪井旧居、大田区立尾崎士郎記念館等
- C. 新規施設内に旧宅等を展示再現
類似事例：松山市立子規記念博物館、大田区山王草堂記念館、松本清張記念館等

整備予定地の見学

検討委員と事務局スタッフにより、整備予定地である区立漱石公園を訪れました。公園の整備経緯の説明の後、交流施設「道草庵」を見学したり、園内を散策するなど、自由に見学を行いました。



見学風景

委員の意見

- ・ 漱石ゆかりの地として、牛込・戸塚地区にとどまらず、新宿区一帯として広くとらえる必要がある。
- ・ 漱石に対しては、これからますます国際的な関心が高まるだろう。漱石は日本人が考える以上に国際的なブランドであり、その国際ブランドをどう発信していくかをぜひ考えていきたい。
- ・ 「文豪・漱石」という堅いイメージだけでなく、愛犬ヘクトーや文鳥などのゆかりの動物を活かしたり、当時の衣装を着てみるなど、子どもたちに親しまれる企画を考えてもよいのではないかと。

「問い合わせ」新宿区文化観光課文化資源係

TEL. 03・5273・3563